

令和4年度 参加と協働市民フォーラム

第6回

# 狛江☆サミット

(こまえくぼ 1234 フェスティバルと共同開催)

## 実施報告書



令和4年 12月

狛江市市民参加と市民協働に関する審議会  
狛江市市民活動支援センター（こまえくぼ 1234）

狛江市

## 目的

市民活動を始めるきっかけとなる講演会を実施することで、市民活動に対する関心を広げるとともに市民活動を始めるための第一歩としてもらう。また、市民活動団体が集うイベント（こまえくぼ 1234 フェスティバル）と一体となって実施することで、地域団体、市民活動団体の活動に直接触れてもらい「自分に出来ることは？」「参加してみようかな？」と考える機会を創出する。

## 主催／企画運営

主催：狛江市 狛江市市民参加と市民協働に関する審議会  
狛江市市民活動支援センター（こまえくぼ 1234）

## 日時・場所

日時：令和4年11月6日（日） 午前10時～11時  
場所：狛江市市民活動支援センター（こまえくぼ 1234）

## 参加者

一般参加者：43人 手話通訳：2人  
市民参加と市民協働に関する審議会委員：5人  
狛江市市民活動支援センター運営委員：2人  
市職員：2人 狛江市市民活動支援センター（こまえくぼ 1234）職員：3人  
計 57人

## 当日の流れ

10:00	開会挨拶	狛江市企画財政部政策室長
10:05	講演会	講師：麻宮 百さん (歌手・元B.B.クイーンズ、Mi-Keメンバー、狛江市市民参加と市民協働に関する審議会委員、市内PTA読み聞かせサークル代表等)
10:35	歌唱	「まるいまるいお月さま」 ※手話付き
10:45	閉会挨拶	狛江市市民活動支援センター長

## こまえくぼ 1234 フェスティバル

狛江☆サミットと同日に実施したイベントであり、駅前ひろばとこまえくぼ 1234 で開催した。こまえくぼ会場では社会福祉協議会職員による「災害ボランティアセンター」についてのお話や、市民活動団体によるワークショップや製品販売、体験会などを実施した。

駅前ひろば会場では、市内小・中学校のおやじの会を中心に、スーパーボールすくい、ヨーヨー釣りなどの遊びや、焼きそば、フランクフルト、ポップコーンなど食べ物の販売を行う「狛江こどものフレンドパーク」の開催や、旬の野菜と地酒の販売等を行った。

## 講演会 ※手話通訳あり

テーマ『一歩踏み出すコミュニケーション ～やさしく、かろやかに、あたたかく～』

### ☆講師自己紹介

---

私は、手話を勉強している最中なので、講演の前半部分だけ手話をつけてお話しします。後半部分は、手話通訳の方お二人にいらしていただいていますので、お二人にお願いさせていただきます。

私は狛江市に住んで 14 年目になります。手話の勉強は始めてから 7 年目です。小学校の絵本の読み聞かせサークルでの代表や、コマラジでパーソナリティをしております。父の仕事の関係で海外で生活をしてきたことがあるので、その時のお話や、プロとしての歌手活動について、現在に至るまでの歴史もお話したいと思います。



### ☆私が大切に思うコミュニケーションとは

---

私は、コミュニケーションは、とても大切だと思います。コミュニケーションが皆を孤独にしないと思っています。外国に住んでいる時に言葉がわからなくて孤独になった経験がありますし、ひどいものではありませんが、いじめをされた経験もあります。そのようなことも含め、皆が笑顔でいられるようにするためのコミュニケーションについて、お話をしたいと思います。

皆さんは家族や友人、仕事の仲間、サークルの仲間など、様々な方とコミュニケーションを取る際、どのような方法を使っていますか？その方法は言葉だけではなく、表情、握手、電話、メール、FAX、手話などいろいろあります。立場も違えば、育った環境も違う、生まれた国や地域も違えば、生まれ持った性格も違います。コミュニケーションとは、そんな人たちと、心を繋ぐ方法のひとつです。

ちなみに、私の母はフランスで、はじめて歯医者さんに行った際、先生がはじめまして、と手を出して握手をしようとしたのに、分からず、さしてきた傘を渡してしまったことがあったようです。文化が違ふとこんなハプニングもありますね。

### ☆帰国子女

---

私は 17 歳の時に日本に帰国しました。高校は、外国で生活していた生徒がどのような生活をするか、どのような学力かを研究する高校に入学しました。その学校には、様々な国から帰国した生徒がたくさんいました。ここではいろいろな国の言葉が飛び交っていました。

授業中の無駄話が、インドネシア語だったり、ドイツ語だったり。多種多様な文化の中で生活してきた、個性が溢れる生徒たちの集まりでした。

この学校で、ボーカルを探しているハードロックバンドがあり、なぜか私に声がかかりました。教室での笑い声が大きかったようです。できるかな、という不安はありましたが、面白そうだと思い参加しました。これが私が歌を始めたきっかけでした。ここから今でも歌を続けています。

大学では乗馬クラブに入りました。馬とのコミュニケーションは、手綱や脚を使ったり、馬体を撫でてあげたりして気持ちを伝えます。とても楽しかったのですが、部活とバンドの二足の草鞋は履けないと判断して、将来を考え、馬の調教師か、歌手か選ぶ時がきました。私は歌を選びました。それが17歳の時でした。

## ☆芸能界デビュー

---

その後、18歳でB.B.クイーンズというグループのオーディションに合格し、「おどるポンポコリン」という楽曲で19歳でデビューしました。忙しくて華やかで楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。紅白にも3回出場させていただきましたが、その忙しい中で心に小さな穴があいた感覚になりました。そのお話は後ほどさせていただきます。

## ☆私の生い立ち

---

私の子どもの頃の話少しします。私は幼い時、あまりコミュニケーションが得意ではありませんでした。人の顔色を見てしまい、よく言えば感受性が強い、逆に言えば臆病でしたので、人と違うことを言わないようにしていました。

私は小学校4回、中学校2回、高校は2回転校しました。大学だけは4年間通いましたが、転校を繰り返すたび、次の場所で今までの自分を変えられるチャンスだ、といつも思っていました。この学校ではこうだったけど、転校したらこの自分をなくそう、と周りが思っている自分を一度ゼロにして新しい自分を作り、転校する度に段々となりたい自分になっていきました。

パリ日本人学校では、弱い自分を克服し、芯をつくりたかったので柔道部に入りました。そこで先生から試合前に「礼」をしたあとは、まっすぐ相手を見なさい、と教わりました。上から見るでも、下から見るでもなく、まっすぐです。これは、私の生き方に、今でも役立っているコミュニケーションの原点となっています。日本では相手によっては生意気なことを言うてしまうこともありましたが、年下の方や自分よりも後から同じ職場に入ってきた方



には、同じ目線で見ているので好かれたりもしました。人とコミュニケーションを取るときに、上を見たり下を見たりせず、まっすぐ相手を見ることで相手が心を開きやすくなるのではないかと思います。

## ☆テレビのお仕事

---

テレビに出ていると、基本的には視聴者は、見えないですし、話さないし、コミュニケーションは、事務所の人、マネージャー、テレビ局の人、ヘアメイクさん、スタイリストさんと、決まった人たちでした。

歌に関しては、私はコーラス担当だったので、一曲を最初から最後まで歌うことはありませんでした。レコード大賞、新人賞、有線大賞とあらゆる賞をいただきましたが、それはプロデューサーや、スタッフ、メンバー、皆の力で得たもので、私も一生懸命歌っていたし踊っていたし頑張っていましたけど、自分は何ができているのだろうか、自分は地に足がついてないのではないかと、などの不安に押しつぶされそうになりました。これが心にあいた穴でした。

## ☆スターダストプロモーションを離れて

---

そのようなこともあり、私は25歳で事務所を離れる決心をしました。このままテレビで踊ったりしていることが何か嘘のような気持ちになりました。その後、辞める条件として3年間は芸能活動をしてはいけない、ということでした。そして、まず歌手の今井美樹さんのマネージャーになりました。美樹さんがチョコレートのコマーシャルでフランスに行った際や、レコーディングでニューヨークに行った際などにマネージャーとして同行し、通訳だけでなく雑用もいろいろとしました。私は気功ができるので、気功で疲れを癒したりということもしていました。

マネージャー業を続けていく中で、疲れてへとへとになったこともあります。歌っている美樹さんの姿を見ていて、私もいつかもう一度歌が歌いたい、と思うようになりました。

## ☆芸能界から離れて

---

一度、地に足を付けたいという思いから、マネージャー業は半年で離れさせていただき、芸能界からも離れることにしました。そして、吉祥寺にあったうどん屋さんでアルバイトを始めました。そこで接客などをしているうちに、いろいろな仕事を任されるようになり、店長になってしまうかもしれない、と思うほど信頼されていました。

実際、父の実家は鬼平犯科帳の、五鉄のモデルになった「かど家」という軍鶏鍋屋でした。また、母の実家は柳橋に大きな料亭を営んでいて、祖母は亡くなる前は高輪で小さな旅館を営んでいました。鰻屋は、叔父の店でしたが、日本橋と神田にお店がありました。

このように、私の親戚は父以外、みんな飲食店経営者だったので、接客をしている姿や食材に感謝している姿、お客様に深々とお辞儀をして、御礼を言っている姿を見てきましたので、接客は上手にできていたと思います。



## ☆音楽に再チャレンジ

---

もう一度、歌を頑張ろうとレコード会社のオーディションを受けて合格し、レコード会社と契約しました。2年間のアーティスト育成期間を得て、音楽作りや、レッスンを再開しました。B.B.クイーンズやMi-Keでは音楽を作るといふことには携われなかったので、自分で音楽を作り、最初から最後まで自分で歌うということがとても幸せでした。ただ、2年間で良い曲は作れず、その時はデビューできませんでした。

その後、29歳の時に玉置浩二さんが在籍されている事務所へ、自分で作成した音源を持ち込みました。そこでプロデューサーを紹介していただき、吉本興業と契約をしてメジャーデビューしました。しかし、残念ながら全然売れませんでした。

## ☆再びアルバイト、そして会社員へ

---

その後、接客のアルバイトを始めて楽しく働いていたところ、あるフランス人のお客様を接客している時に「うちの会社に来ないか？」と言われました。また、お話をしていく中で「君は何をやりたいんだい？」と質問されたので、「私は歌手ですが、売れないので販売員をしているんです」と答えましたら、「君は何ができる？」と聞かれたので「私は人を幸せにすることができると思うんです。そう信じています」と答えました。そうしたら、「そのコンセプトが気に入った」と、そこで入社が決まりました。その会社は、フランスの大きな製薬会社ピエールファールグループでして、12年間営業を頑張りました。

## ☆ライフワーク

---

ただ、やはり音楽をやりたいという思いが強くなってきました。音楽をやるのであれば芸能界に入らなくても良いと考え、無国籍のバンドを作りました。好きな仲間と好きな音楽で自主製作でCDを出しました。

仕事では、フランスの製薬会社で、朝から晩まで仕事をしながら、楽しい反面、自分のコミュニケーション能力を、お金に変えていただくという、そのためだけに使っていることに、また少し違和感を感じ始めます。音楽は、週末だけやっていたんですが、ライフワークとライスワークのバランスが違ふと感じたのです。

そこで、ふと、以前から気になっていた手話の勉強に取り組もうと思ったのです。初めは何も知識がなかったため、インターネットを見ながら指文字を練習していました。

そんな時、市役所に行きましたら手話講習会があると教えていただき、申し込んでみました。そこでいろいろな方と出会い、狛江市に住んで初めて仲間ができました。一緒に勉強をする仲間や先生方、私の歌を聴いてもらうことはできませんが、コミュニケーションを取り



たい人との出会いがあり今でも頑張っています。私は「声」が特徴であり、「声」で世渡りをしてきたのですが、その「声」では伝えられない人とのコミュニケーション方法を学び、私がかつてフランスやマレーシアで、「言葉の壁」にぶつかり、疎外感を感じ、孤立してしまった

時期のように、そして、それを助けてくれた人のように、私にできることを考えはじめていました。

## ☆幼児期の記憶

---

私は両国でお寺の幼稚園に通っていたのですが、肌が弱く、よく手に湿疹ができてしまったり、かきこわして手から水が出てしまったり、脇にイボができてしまったりしていました。子どもですから、みんな、気持ち悪いとか、あっち行ってとか言われました。みんなで輪を作って手を繋ぎましょうと先生が言うと、みんなが私と手を繋ぎたくない、離れてしまいました。私もこんな手で、気持ち悪いのは仕方ないなとうつぶしていたら、ともこちゃんという女の子が、私の手を握り、全然気持ち悪くないよ、と言ってくれたんです。私は自分でも気持ち悪いのに、ともこちゃんは、しっかり私の手を握って笑顔で私を見ました。ともこちゃんの笑顔がキラキラしているのを見て私は泣きそうになりました。ともこちゃんは、かわいくて、頭もよくて、人気者だったので、みんなはともこちゃんが言うならと私を仲間にいれてくれました。

小学校の頃も、ひどいいじめではありませんでした。が、「無視」というのが流行っていて、1人の女の子がクラスみんなに無視されました。私は、そんなことしたくなかったし、幼稚園の時にともこちゃんに救われたことがずっと私を支えてくれていたので、私だけは仲良くしていました。そうしたら、今度は、私が標的になってしまい、クラスみんなが私を無視しましたが、その女の子だけが私と話をしてくれました。そんな中、私はフランスに引っ越しをすることになりました。みんなにお別れの挨拶をしましたが、その女の子だけには先に伝えました。頑張って、大丈夫だからと伝えました。そして、私はクラスみんなに、無視なんかしないでくださいと言いました。そうしたら、何人かの女の子が泣いて謝ってくれました。

## ☆私の意思

---

そのようなこともあり、私はコミュニケーションはすごく大切だと思っています。私は少しずつ自分を強くすること、それは優しい心で、人を大切に思うことだと学びました。

言語は、手話も含めて、コミュニケーションの方法ですが、そこに、必要な要素はやさしく、あたたかい、軽やかな心だと思います。

本日の講演会のテーマを「一歩踏み出すコミュニケーション」としたのは、皆さんが市民活動など何か始めようと思った時に、一人ではないということを伝えられたからです。こまえくぼの方々もいろいろと助けてくれます。また、折り紙の団体や読み聞かせの団体など、たくさんの団体が活動しています。私がパーソナリティを務めているコマラジでも、こまえくぼで活動している多くの団体さんにお世話になっています。おはなしこまえ、狛江おはなしの会くーすけ、こ



まえほんの会などの団体さんが協力してくれています。

また、私が小学校で代表を務めている和泉小学校読書の会の皆さんもコマラジに出演してください、すでに100冊以上の絵本を紹介してくれています。コマラジの「こまえいいところ」というコーナーでは、私が自分で足を運び、地域の方と繋がることができるので、どんどん心が豊かになっています。芸能界や企業務めなどをしてきた中でぽっかりとあいていた心の穴は今はまったくありません。とても満たされています。これから皆さんと一緒に小さな喜びを一つひとつ集めてみんなで笑顔になっていけたらいいと思っています。

本日はせっかくの機会ですので、皆さんと一緒に歌の歌詞に手話を付けてやってみたいと思います。

◎手話解説

◎歌唱（手話付き）

曲：「まるいまるいお月さま」

今日お話をさせていただいたことが、何か一つだけでも、皆さんの心に残っていただければ嬉しいです。今後も皆さんと一緒に粕江市で楽しく生活していきたいと思っています。

本日はありがとうございました。

## 事業チラシ

10 こまえくぼ 1234 フェスティバル

# 第6回 粕江☆サミット

粕江市参加と協働市民フォーラム



講演者 麻宮 百さん (歌手・元B.B.タインズ、Mi-Keのボー)

一歩踏み出すコミュニケーション  
～やさしく、かろやかに、あたたかく～

歌手活動とともに取り組んでいるボランティア・市民活動、一歩を踏み出すコミュニケーション、あなたの勇気を後押ししてくれる講演会。

日時 令和4年11月6日(日)  
午前10時～10時30分

場所 粕江市市民活動支援センター こまえくぼ1234

定員 30名(先着順)

「第6回粕江☆サミット」は「こまえくぼ1234フェスティバル」(こまえくぼ会場)でのイベント内にて開催します。 ※要参加

主催 粕江市市民参加と市民協働に関する審議会、粕江市市民活動支援センターこまえくぼ1234

### 粕江市参加と協働市民フォーラム「第6回 粕江☆サミット」

麻宮 百さん(まみや ひゃく)さん、プロフィール  
元B.B.タインズ、元Mi-Keのボー、2002年よりソロ活動中。2019年3月、NHK総合テレビ「おはよう朝日」に出演。2022年、NHK総合テレビ「おはよう朝日」に出演。2022年、NHK総合テレビ「おはよう朝日」に出演。2022年、NHK総合テレビ「おはよう朝日」に出演。

### 第2回 こまえくぼ1234 フェスティバル

2022年11月6日(日) 10:00～15:00 2会場で開催

会場	内容
こまえくぼ1234会場	「粕江☆サミット」とあわせて、市民活動団体による活動報告、ワークショップ、表彰授賞、体験などを実施。市民活動団体の情報、イベント情報なども積極的に掲載。
こまえくぼ広場会場	市内小学校・中学校校舎の一角が中心となって学校の様子、子どもたちが楽しめる「子どもフロンティア」を体験。市の活動報告、地域の取組による物産展などを開催。

市民活動団体の活動を「知って」「触れて」「楽しむ」チャンス!!

【お願い】新型コロナウイルス感染症対策のため、マスク着用・手指消毒の徹底をお願いします。  
※当日、混雑や空きを考慮して、開催を中止する場合がありますことをご了承ください。  
※感染症拡大の状況に応じて、開催を中止する場合がありますことをご了承ください。

粕江☆サミット 問い合わせ先  
粕江市市民参加と協働市民協働推進委員会  
TEL: 03-3430-1164 (直通) FAX: 03-3430-6870  
こまえくぼ1234フェスティバル 問い合わせ先  
粕江市市民活動支援センターこまえくぼ1234  
TEL: 03-5761-5556 FAX: 03-5761-5033

### ～「おもいをカタチに」つながるこまえくぼ～

11/6(日) 10:00～15:00 会場/粕江市市民活動支援センター(こまえくぼ1234)

## 第6回 粕江☆サミット in こまえくぼ1234フェスティバル

☆10:00～11:00 麻宮百さん講演会 ※講演は手話通訳が行きます  
「一歩踏み出すコミュニケーション～やさしく、かろやかに、あたたかく～」

講師 麻宮 百さん  
B.B.タインズ、Mi-Ke元メンバー。  
現在は、コマラジ「麻宮百さんのスマイルラジオ」パーソナリティ、市内で読み聞かせボランティア、手話などで活躍中。

### 講演会と市民活動紹介 会場：7リースペース

☆11:00～12:00 災害ボランティアセンターについて  
「もし災害が起きたら」被災した人たちや地域の方になるには「私たちが何から知ればいいのかな」を一緒に考えませんか。  
令和元年台風19号による被害被害者支援に貢献した東洋ボランティアセンターについて、粕江市社会福祉協議会からの活動報告です。

☆12:00～15:00 市民活動団体による活動紹介  
市民活動団体の日頃の活動の紹介や活動にかける思いなどをお話します。  
「初めて知った!」「初めて見た!」を体験に来てください♡  
12:00～ 担任音楽グループ・音源って何?  
13:00～ 調布学園・里親制度とフレンドホーム制度について  
14:00～ コロナこどもプロジェクト・ワークショップ実演と活動紹介  
15:00～15:00 サポートセンター/ふく、シェアハウス、養育館/合気道倶楽部

☆10:00～15:00 販売・ワークショップ・体験 会場：駐車場

新しい発見! 新しい発見! を見つけに来ませんか。  
子どもから大人までどなたでも大歓迎! お気軽に立ち寄りください。  
10:00～15:00 たまりば、comarch(こまち)、まなびや、シェアベスト  
13:00～15:00 サポートセンター/ふく、シェアハウス、養育館/合気道倶楽部

主催 粕江市市民参加と協働市民協働推進委員会、粕江市市民活動支援センター(こまえくぼ1234)  
TEL: 03-5761-5556 FAX: 03-5761-5033  
会場/こまえくぼ1234会場